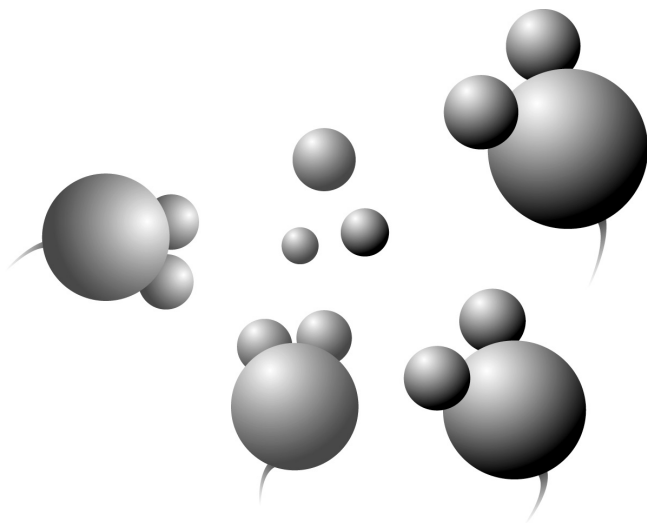


サザンクロスオプション メール読みマウス 2000 取扱説明書

このたびは、メール読みマウス 2000をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。

お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。



1
前に
お使いになる

2
準備
パソコンの

3
上げる
メールを読み






4
その他の操作

5
ご参考に

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書中のマーク説明

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
 お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
 ワンポイント	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

ご使用の際は取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。

This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害や万が一、本商品に登録された情報内容が消失してしまうこと等の純粹経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いいたします。

本商品を分解したり改造したりすることは絶対に行わないでください。

本書に、他社商品の記載がある場合、これは参考を目的としたものであり、記載商品の使用を強制するものではありません。

簡単操作ガイドをご使用の際は、必ず取扱説明書をよく読み理解したうえでお使いください。

本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申しつけください。

この取扱説明書、ハードウェア、ソフトウェアおよび外観の内容について将来予告なしに変更することがあります。

Windows® 95は、Microsoft® Windows® 95 operating systemの略です。

Windows® 98は、Microsoft® Windows® 98 operating systemの略です。

Windows® Meは、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略です。

Windows® 2000は、Microsoft® Windows® 2000 operating systemの略です。

Windows NT® 4.0は、Microsoft® Windows NT® operating system Version 4.0の略です。

Windows、Windows NTは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

Pentium®は、Intel Corporationの登録商標です。

Eudora Proは、イリノイ大学Board of Trusteesの登録商標です。米国Qualcomm社にライセンスされています。

Outlook Expressは、米国Microsoft Corporationの商標です。

本商品のキャラクタに関する著作権 ©東日本電信電話 電通 1999

その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

付属品のCD-ROMは日本語版OS以外の動作保証はしていません。

付属品のCD-ROMはソフトウェアのバックアップとして保有する場合に限り、複製することができます。また、ソフトウェアについてのいかなる改変も禁止とし、それに起因する障害について当社は一切の責任を負いません。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

警告

万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源アダプタをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認して、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客さまによる修理は危険ですから絶対におやめください。

万一、本商品を落としたり、本体を破損した場合は、すぐに電源アダプタをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

万一、内部に水などが入ったり、本商品をぬらした場合は、すぐに電源アダプタをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

本商品を分解・改造したりしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

本体が熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源アダプタをコンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

本商品のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。

ふる場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

AC100 Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

警告

電源アダプタコードに傷をつけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源アダプタコードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。電源アダプタコードが傷んだら、電源アダプタをコンセントから抜き、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

ぬれた手で電源アダプタを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

電源アダプタは、必ず付属のものを使用し、それ以外のものは絶対にお使いにならないでください。火災、感電の原因となることがあります。

テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

本商品を移動させる場合は、電源アダプタをコンセントから抜き、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

電源アダプタを電源コンセント（AC100 V）に差し込むときは、確実に差し込んでください。電源アダプタの刃に金属などが触れると、火災・感電の原因となることがあります。

電源アダプタをコンセントから抜くときは、必ず電源アダプタの本体を持って抜いてください。電源アダプタコードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

電源アダプタは、ほこりが付着していないことを確認してからコンセントに差し込んでください。また半年から1年に1回は、電源アダプタをコンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより火災・感電の原因となることがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

お使いになる前に（設置環境）

⚠ 注意

直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど、温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所、鉄粉や有毒ガスが発生する場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上にものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

振動・衝撃の多い場所に置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

お使いのとき

⚠ 注意

近くに雷が発生したときは、電源アダプタをコンセントから抜いてご使用をお控えください。雷によっては、火災・感電の原因となることがあります。

本商品や電源アダプタを熱器具に近づけないでください。キャビネットやコードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

長期間ご使用にならないときは、安全のため電源アダプタをコンセントから抜いてください。

電源コードには、延長コードは使わないでください。火災の原因となることがあります。

⚠ 注意

付属品のCD-ROMをオーディオ用プレーヤーで使用しないでください。大音量によりスピーカの破損や耳の障害の原因となることがあります。

電源アダプタとコンセントの間のほこりは、定期的（半年に1回程度）に取り除いてください。火災の原因となることがあります。

取り扱いについて

STOP お問い合わせ

ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の变色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。

落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。

置き場所について

STOP お問い合わせ

製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。

電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音等が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 放送局や無線局などが近く、雑音等が大きいときは、本商品の設置場所を移動してみてください。

硫化水素が発生する場所（温泉地）などでは、本商品の寿命が短くなることがあります。

目次

安全にお使いいただくために必ずお読みください	2
この取扱説明書の見かた	8

1 お使いになる前に

メール読みマウスにできること	10
接続～操作までの流れ	12
セットを確認してください	13

2 パソコンの準備

メール読みマウスとパソコンの接続	14
メール読みマウスとパソコンの接続手順	14
ソフトウェアのインストールと設定	16
「メール読みマウスのソフトウェア」をインストールする	16
「メール読みマウスのソフトウェア」の設定	18
読み上げ音量の設定と調節	22

3 メールを読み上げる

メール読みマウスにメールを読ませるには	24
メール読み上げ中の操作	28
メールを読み飛ばして、次のメールを読みたいときは	28
メール読み上げを中断したいときは	29
メール読みマウスを終了するには	30

4 その他の操作

メールの取得を中断するには	31
設定を変更するには	32
ソフトウェアを削除するには	33

5 ご参考に

故障かな?と思ったら	35
Q&A	38
索引	41
仕様	42
保守サービスのご案内	43

1
前にお使いになる

2
パソコンの準備

3
メールを読み上げる

4
その他の操作

5
ご参考に

メール読みマウスにできること

さまざまなインターネットメール環境で使用できます

LAN、アナログ回線、ISDNなどのインターネットメール環境で使用することができます。

新しく受け取ったメールを読み上げます

メールの受信件数や発信者をお知らせします。
件名やメールの内容を読み上げることができます。

メール読みマウスのおしゃべり

読み上げるメールがない場合にも、🐭🗣️「メール来てないよ。大丈夫、今度は来るよ。」などとおしゃべりします。

待ち時間なしでメールを読み上げることができます

メール自動取得で一定時間ごとにメールが来ているかどうかをメールサーバーに確認し、メールが来ていた場合は、メールサーバーからメールを取得しておくことができます。これにより、メール読み上げを指示したあとすぐにメール読み上げを始めます。

添付ファイルのお知らせ

メールに添付ファイルが付いていたら、🐭🗣️「添付ファイルがあるよ。」とお知らせします。

お帰りなさい。



メール
あるかな。

次のことはメール読みマウスではできません。ご理解のうえメール読みマウスをご使用ください。

メール読みマウスは、メールサーバーにあるメールを読み上げるためのものです。すでにメールサーバーから他のメールソフトなどで取得したメールの読み上げはできません。

一度読み上げたメールは、再度読み上げることはできません。

メールの編集機能や送信機能を持っていません。編集や送信、削除には、他のメールソフトをご利用ください。

メール読みマウスは、日本語対応のものです。他国語については、一部の英単語を除いて、正しく読み上げることはできません。また、日本語であっても、書かれている内容を正しく発音できない場合があります。あらかじめご了承ください。

HTML形式のメールは読み上げることはできません。



お知らせ

メール読みマウスを使用するためには、インターネットが使える環境が必要です。メール読みマウスの動作中にパソコンで音楽CDを聞いたり、音の出るソフトウェアを使用しないでください。メール読みマウスが誤作動する場合があります。サーバーからメールを取得している途中およびメール読みマウス起動中に、停電や強制終了などなんらかの原因でパソコンの電源がOFFになった場合、読み上げ内容を消失する可能性があります。

(^ ^)などのフェイスマークも読み上げることができます。ただし、書かれている内容により正しく読めない場合もあります。(^ ^) = アッハッハ

メール読みマウスにできること

接続～操作までの流れ

1. メール読みマウスとパソコン
を接続します。(●P14)



2. メール読みマウスソフトウェア
をパソコンにインストール
します。(●P16)



3. メール読みマウスソフトウェア
を起動します。(●P18)



4. メール読みマウスソフトウェア
の設定をします。(●P18)



5. 音量の設定と調節をします。
(●P22)

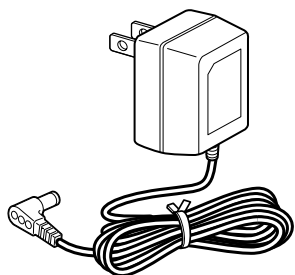


6. メール読みマウスの背中の
スイッチを押してメールを
チェックします。(●P24)

セットを確認してください



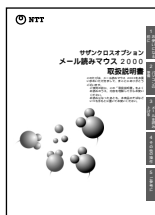
メール読みマウス（ぬいぐるみ+本体）



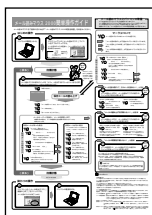
電源アダプタ



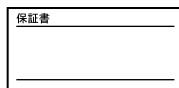
メール読みマウス 2000用
ソフトウェアCD-ROM



取扱説明書



簡単操作ガイド





保証書

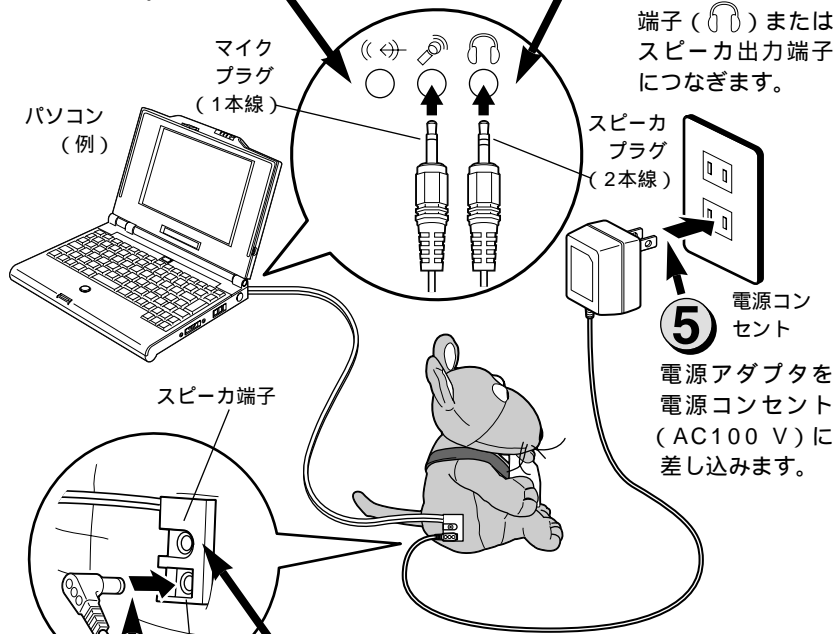
セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

メール読みマウスとパソコンの接続

メール読みマウスとパソコンの接続手順

① マイクプラグ（プラグに1本線のあるもの）をパソコンのマイク入力端子（）につなぎます。

② スピーカプラグ（プラグに2本線のあるもの）をパソコンのヘッドホン端子（）またはスピーカ出力端子につなぎます。



マイク
プラグ
（1本線）

スピーカ
プラグ
（2本線）

パソコン
（例）

電源コン
セント

スピーカ端子

電源アダプタ
差込口

③ 外部スピーカを接続する場合は、外部スピーカのプラグを、メール読みマウスのスピーカ端子につなぎます。なお、外部スピーカを接続しなくても、メール読みマウスは使用できます。

④ 電源アダプタコードのプラグを、メール読みマウスの電源アダプタコードの差込口につなぎます。

⑤ 電源アダプタを電源コンセント（AC100 V）に差し込みます。


メール読みマウスが動作するには、以下のような動作環境が必要です。


パソコン	DOS/V互換のもの
OS	Windows® 95/98、Windows® Me
CPU	Pentium®133 MHz以上
メモリ	32 MB以上
空きハードディスク	約80 MB
その他	


- ・マイク入力・スピーカ出力が同時にできること
- ・インターネットに接続可能（メールの送受信ができる環境があること）




ワンポイント



マイク入力端子（）がないパソコンをご使用の場合



マイクプラグ（プラグに1本線のあるもの）は、LINE IN（）につないでください。


ヘッドホン端子（）やスピーカ出力端子がないパソコンをご使用の場合

スピーカプラグ（プラグに2本線のあるもの）は、LINE OUT（）につないでください。


ただし、この場合、音が十分大きくならないことがあります。ご了承ください。

パソコンのマイク入力端子（）やヘッドホン端子（）の位置について

お使いのパソコンの種類によっては、マイク入力端子（）、ヘッドホン端子（）、スピーカ出力端子などの位置や記号が異なる場合があります。各端子の区別・位置などは、各パソコンの取扱説明書をご覧になってご確認のうえ、正しく接続してください。

音量を調整するには（P22）

メール読みマウスをパソコンから外すときは

先にメール読みマウスソフトウェアを終了させてください。（P30）ソフトウェアが外部の音を感知して読み上げを始めるなどの誤作動をする場合があります。



お知らせ

メール読みマウスは、Windows® 2000、Windows NT®、Mac OS上では、動作しません。お手持ちの外部スピーカを接続してご利用になれます。接続すると、外部スピーカとメール読みマウスの両方から音がでます。（メール読みマウスの音は、モノラル音です。）



お願い

電源アダプタは、必ず付属のものを使用してください。

メール読みマウスを長期間ご使用にならない場合は、電源アダプタを電源コンセントから抜いておいてください。

ソフトウェアのインストールと設定

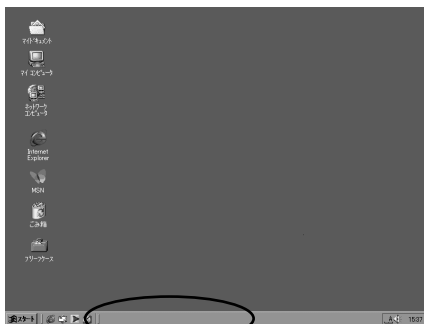
メール読みマウスが動作するためには、モデムやTAなどを使ってインターネットに接続できる環境が必要です。インターネット接続の設定がまだお済みでない場合は、インターネット接続設定を行い、接続動作の確認が済んだ後、メール読みマウスのインストールを行ってください。

また、インストールと設定の際には、プロバイダやメールサーバーの情報が必要になります。プロバイダ、およびメールサーバーの資料をお手元にご用意ください。

「メール読みマウスのソフトウェア」をインストールする

1 起動しているプログラムがあったら、終了させる。

起動しているプログラムがある場合
[スタート] ボタンの右側に、プログラムが表示されています。



確認する

2 付属品の「メール読みマウス 2000用ソフトウェアCD-ROM」を、CD-ROMドライブにセットする。

インストールプログラムが自動的に動作し、手順3の画面が表示されます。

ワンポイント

インストールが自動的に実行されない場合
次の手順でインストールプログラムを開始してください。

[マイコンピュータ] をダブルクリックする



[MAILMOUSE] をダブルクリックする

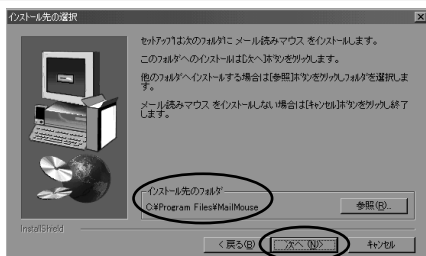


3 画面の指示に従ってインストールする。[次へ>]をクリックする。



4 インストール先のフォルダを確認し、[次へ>]をクリックする。

他のフォルダへインストールする場合は、[参照]をクリックして別のフォルダを指定してください。



5 [完了]をクリックする。

インストールが完了しました。正常にインストールが終了すると[メール読みマウス]アイコンがデスクトップ上に作成されます。



[メール読みマウス]アイコン



ワンポイント

インターネットへの接続を可能にするにはインターネットへの接続、設定方法については、パソコンの取扱説明書、プロバイダ資料をご参照ください。なお、詳細については、ソフトウェアメーカ、パソコンメーカ、プロバイダ等にお問い合わせください。

「メール読みマウスのソフトウェア」の設定

すでに [プロパティ] 画面が表示されている場合は、手順3から操作してください。

1 デスクトップ上の [メール読みマウス] アイコンをダブルクリックする。

メール読みマウスが起動し、[メール読みマウス] 画面が表示されます。

インストール後、初めて起動したときは、[プロパティ] 画面が表示されます。
手順3から操作してください。



2 [メール読みマウス] 画面の [設定] をクリックする。

[プロパティ] 画面が表示されます。



お知らせ

メールの自動取得を行う場合は、省電力機能付きパソコンでは、省電力機能をOFFにしてください。省電力機能が働いている場合には、メールの自動取得を行わない場合があります。ダイヤルアップ接続名が表示されない場合は、ダイヤルアップ接続によるインターネットへの接続が可能な状態になっていません。パソコンの取扱説明書等をご確認になり、接続の登録を行ってください。

携帯電話やPHS対応電話機等でダイヤルアップ接続してご使用の場合、メールの読み上げが正しく行われない場合があります。

プロバイダ等が混み合っている場合やメール取得に失敗した場合、設定内容に誤りがあった場合は、[プロパティ] 画面の表示を指示しなくても、[プロパティ] 画面が表示されることがあります。

一部プロバイダでは、ユーザーIDを利用しない環境でサービスを提供しているものがあります。このタイプのプロバイダをご利用の場合、メール読みマウスはご使用になれません。

3 [プロパティ] 画面で情報を入力する。

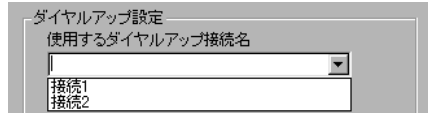
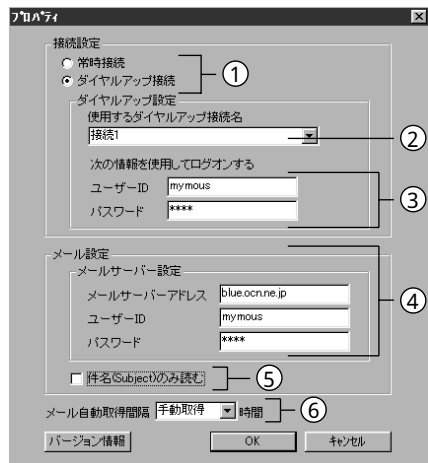
半角英数字のみ使用可能です。
大文字、小文字の区別に注意して入力してください。

- 接続設定**
 いずれかを選んでください。
 「常時接続」
 : プロバイダの常時接続サービスやLANをご利用の場合。
 「ダイヤルアップ接続」
 : ダイヤルアップ接続をご利用の場合。
 常時接続を選んだ場合は、 の設定へ(●P20)

- 使用するダイヤルアップ接続名**
 この項目は、ダイヤルアップ接続の場合だけ設定が必要です。
 ダイヤルアップネットワークに登録されている接続名から使用する接続を選択します。

- ダイヤルアップログオン情報**
 この項目は、ダイヤルアップ接続の場合だけ、設定が必要です。
 ご利用のプロバイダにダイヤルアップで接続するためのユーザ名とパスワードを入力します。
 [ユーザID] : プロバイダと接続するためのユーザIDを設定します。
 [パスワード] : プロバイダに接続するためのパスワードを設定します。
 (入力したパスワードは、全て*の文字として表示されます。)

「ダイヤルアップ接続」を選んだ場合の表示例



プルダウンリストで指定できます。

(次ページへつづく)



ワンポイント

常時接続を選択したときは
ダイヤルアップ設定の項目は、設定の必要はありません。
メール読みマウスのバージョンを確認するには
プロパティ画面の [バージョン情報] をクリックすると、メール読みマウスのバージョンを表示することができます。
[OK] をクリックすると表示が終了します。



ソフトウェアのインストールと設定

④ メール設定

ご利用のメールサーバーアドレス (POPサーバ) および、ログインするユーザーID (アカウント) とパスワードを入力してください。

(メールソフトの設定を参考にメールサーバー設定を設定する●P21)

[メールサーバーアドレス]

: メールサーバーアドレス (POPサーバ) を設定します。

[ユーザーID]

: メールサーバーにログインするためのユーザーID (アカウント) を設定します。

[パスワード]

: メールサーバーにログインするためのパスワードを設定します。(入力したパスワードは、全て*の文字として表示されます。)

⑤ 件名 (Subject) のみ読む

メールの件名のみを読み上げる場合指定します。メール本文を読み上げる場合は、指定しないでください。

⑥ メール自動取得間隔

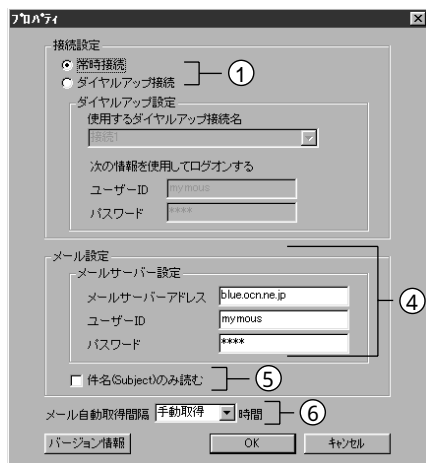
(手動取得、0.5 (30分) 1、2、3、4、5、6、12、24時間)

メールサーバーに一定の時間間隔で接続し、最新のメールを自動で取得するための時間の間隔を指定します。

「手動取得」に設定すると、メール読みマウスの背中のスイッチを押す、またはデスクトップ上の [メール読みマウス] 画面のメール読みマウスボタンをクリックした際に、メールサーバーに接続して最新のメールを取得します。

時間を設定する (メール自動取得) と、その時間ごとに、自動的にメールサーバーに接続し、最新のメールを取得します。

「常時接続」を選んだ場合の表示例



プルダウンリストで指定できます。

4 プロパティの設定が終わったら [OK] をクリックする。

ソフトウェアの設定は完了です。



お知らせ

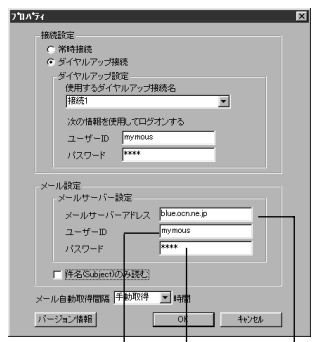
メール自動取得に設定した場合、メール読みマウス起動後、最初にメール読みマウスの背中のスイッチを押す、またはデスクトップ上の [メール読みマウス] 画面のメール読みマウスボタンをクリックした際には、メールサーバーに接続して新規メールを取得します。2度目以降は、上記操作をしてもサーバーには接続せず、設定された時間ごとにサーバーに接続します。

メールソフトの設定を参考にメールサーバー設定を設定する

メールサーバー設定の内容は、お使いのメールソフトで設定している内容と同じものです。メールソフトの設定内容を参考に設定する場合の一例を以下に示します。

[プロパティ]画面

他のメールソフトで確認したと同じものを指定します。(大文字・小文字、全角・半角にご注意ください。)

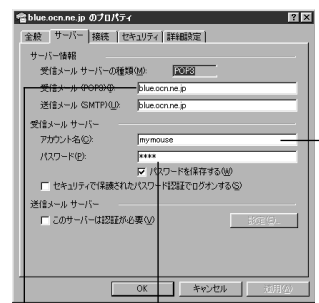


の内容 の内容 の内容

メールソフトの設定内容例

Outlook Express 5をお使いの場合

[ツール] [アカウント] [メール] [プロパティ] [サーバー]を選択し、次の画面を表示します。

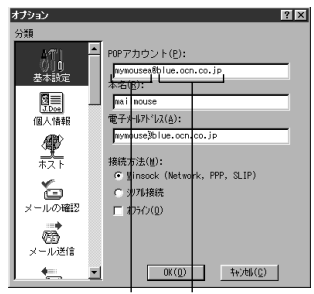


ユーザーID

メールサーバー パスワード
のアドレス 表示はされていませんが、ここに指定した
ものと同じパスワードを使用してください。

Eudora Pro Email 3.0をお使いの場合

[ツール] [オプション] [基本設定]を選び、次の画面を表示します。



ユーザーID メールサーバー
のアドレス

パスワード
プロバイダおよびメールサーバーの資料等でご確認ください。

Eudora Pro Email 4.2をお使いの場合

[ツール] [オプション] [基本設定]を選び、次の画面を表示します。



メールサーバー ユーザーID
のアドレス

パスワード
プロバイダおよびメールサーバーの資料等でご確認ください。

読み上げ音量の設定と調節

メール読みマウスの音量調節は、お使いのパソコンの音量調節を使用します。お使いのパソコン本体に音量調節用のダイヤルがある場合は、それを使って調節してください。(●P38)次にWindows®のボリュームコントロールを使って、ソフトウェアで設定および調節してください。

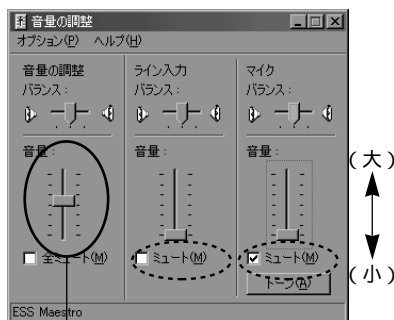
1 [スタート] [プログラム] [アクセサリ] [エンターテイメント] [ボリュームコントロール]を選択する。

[音量の調節] ダイアログが表示されます。

2 音量の調節の設定をする。音量の 調節項目で出力音量を調節する。

音量の調節の設定

マイクプラグをマイク入力端子(🔊)に接続している場合、「マイク」の「ミュート」をチェックしてください。LINE IN(((←)))に接続している場合、「ライン入力」の「ミュート」をチェックしてください。「ミュート」指定ができないパソコンの場合は、接続した端子の音量を最小に設定してください。



音量調節

3 [音量の調節] ダイアログの [オ プション] [プロパティ] を 選択する。



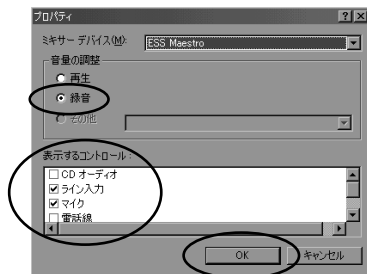
ワンポイント

メール読みマウスの背中のスイッチを押したとき「ピー」という音をさせたい場合、音量の調節のマイクプラグを接続した端子の「ミュート」のチェックを外します。ただしパソコンの種類、接続によっては、「ミュート」をチェックしたままでも「ピー」という音がすることがあります。

[音量の調節] ダイアログにマイクやライン入力の項目が表示されない場合(●P38)

- 4 「音量の調整」の「録音」を選び、マイクプラグを接続した端子(マイクまたはライン入力)の項目をチェックし、[OK]をクリックする。

[録音の調節] ダイアログが表示されます。

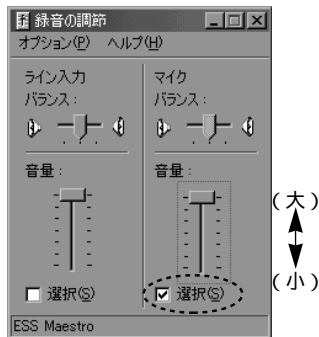


- 5 録音の調節の設定をする。

録音の調節の設定

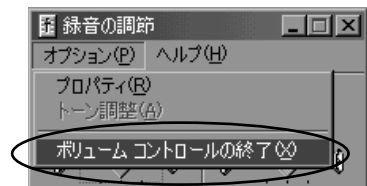
マイクプラグをマイク入力端子(🔊)に接続している場合、「マイク」の「選択」をチェックし、音量を最大にしてください。LINE IN(🔊)に接続している場合は、「ライン入力」の「選択」をチェックし、音量を最大に設定してください。それ以外の端子の項目は、「選択」をチェックしないでください。

「選択」ではなく「ミュート」が表示されている場合は、接続した端子以外の項目の「ミュート」をチェックしてください。



録音コントロールの項目が表示できるパソコンをご使用の場合は、録音コントロールの音量も最大にしてください。

- 6 [オプション] [ボリュームコントロールの終了]を選択する。



お知らせ

Windows® 95の場合は、[スタート] [プログラム] [アクセサリ] [マルチメディア] [ボリュームコントロール]で[ボリュームコントロール]のダイアログが表示されます。表示されるダイアログは、お使いのパソコン(サウンドカード)により異なります。詳しくはパソコンおよびOSの取扱説明書をご確認ください。

メール読みマウスにメールを読ませるには

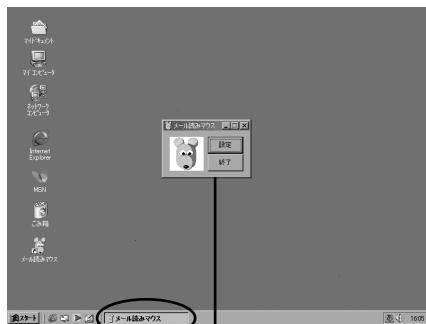
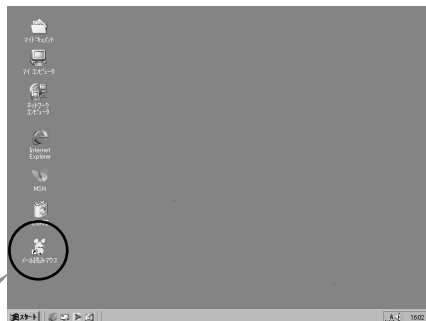
すでにメール読みマウスが起動されている場合は、手順2から操作してください。

1 デスクトップ上の [メール読みマウス] アイコンをダブルクリックする。

メール読みマウスが起動し、[メール読みマウス]画面が表示され、タスクバーの一部に「メール読みマウス」と表示されます。



[メール読みマウス]アイコン



[メール読みマウス]画面



ワンポイント

メール読みマウスを終了するには (●P30)

メール読みマウスが起動しているかどうかを確認するには (●P40)

デスクトップ上にメール読みマウスのアイコンがないとき (●P39)



お知らせ

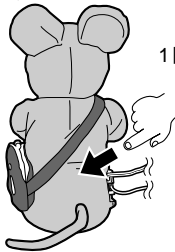
メール読みマウスを使用するときは、他のマイク入力を行うソフトウェアは使用しないでください。誤作動する場合があります。

[プロパティ]画面の設定に誤りがある場合、メール読み上げを指示すると、[プロパティ]画面が表示され、 「メール来てないよ。…」とおしゃべりします。

プロバイダ等が混み合っている場合や、メール取得に失敗した場合、[プロパティ]画面が表示され、 「メール来てないよ。…」とおしゃべりします。

ご使用のパソコンによっては、 「お帰りなさい。」「メールを取ってくるよ。ちょっと待ってね。」が聞こえない、または、とぎれる場合があります。(●P36)

2 メールを読んでほしいときに、メール読みマウスの背中のスイッチを「カチッ」と音がするまでしっかりと1回だけ押す。または、デスクトップ上のメール読みマウスボタンをクリックする。



1回だけ押す

または



メール読みマウスボタン

クリックする

おしゃべりの流れ

おしゃべりの内容とそのときの状態については、おしゃべりの内容一覧(●P26)を参照してください。

待機状態



「お帰りなさい。」



「メールを取ってくるよ。ちょっと待ってね。」

「メールあるかな。」

手動取得の場合：メールサーバーに接続し、メールを取得します。

自動取得の場合：メール自動取得設定時間に、取得したメールをお知らせします。



「メールが 通来てるよ。」



「 さんと... さんからだよ。」 1

「 さんからのメールを読むよ。」

「タイトルは だよ。」

(メール本文) 2



「これで終わりだよ。」

待機状態

保存メールがある場合



「取っておいたメールは 通だよ。」



「 さんと... さんからだよ。」 1

「 さんからのメールを読むよ。」

「タイトルは だよ。」

(メール本文) 2

- 1 6通以上の場合には読み上げません。
- 2 [件名のみ読む]をチェックしている場合には、読み上げません。

3 メールを上げる

メール読みマウス動作中は、次のことが行えます。

メールの取得を中断したいときは(●P31)

メールを読み飛ばして、次のメールを読みたいときは(●P28)

メールの読み上げを中断したいときは(●P29) (次ページへつづく)

メール読みマウスにメールを読ませるには



おしゃべりの内容一覧

メール読みマウスのおしゃべり内容	こんなときにおしゃべりします	おしゃべり中にできること
「お帰りなさい。」	メール読みマウスの背中のスイッチを1回だけ押したとき メール読みマウスボタンをクリックしたとき	-
「メールを取ってくるよ。ちょっと待ってね。」	メールサーバーに、メールを取得に行くとき	-
「メールあるかな。」	メールサーバーからメールを取得中	メール取得中断 (●P31)
「待ってね もうすぐだよ。」		
「取っておいたメールは 通だよ。」	保存メールの数 保存メール読み上げを開始するとき	-
「メールが 通来てるよ。」	新規メールの数 新規メール読み上げを開始するとき	-
「さんと... さんからだよ。」	メールの送り主の名前を読み上げます 6通以上ある場合は、メールの送り主の名前を読み上げません	-
「さんからのメールを読むよ。」	メールを読み始めるとき	-
「タイトルはないよ。」	件名(タイトル)なしのメールを読み上げるとき	メール読み飛ばし (●P28) メール読み上げ中断 (●P29)
「タイトルは だよ。」	件名(タイトル)ありのメールを読み上げるとき	
(メール本文)	メール本文があるとき 件名のみ読み上げをチェックしている場合は、本文は読み上げません	
「添付ファイルがあるよ。」	添付ファイルがあるメールを読み上げたとき 件名のみ読み上げをチェックしている場合は、「添付ファイルがあるよ。」とはおしゃべりしません	-
「メール来てないよ。大丈夫、今度は来るよ。」 「メール来てないよ。友達少ないね。」 「メール来てないよ。落ち込むな、僕がいるじゃないか。」 「メール来てないよ。みんな忙しいのかな。」 「メール来てないよ。この前も来なかったね。」 「メール来てないよ。あ、来た。あ、やっぱり来てないや。」	保存メールも新規メールもないとき 6種類からランダムにおしゃべりします	-

メール読みマウスのおしゃべり内容	こんなときにおしゃべりします	おしゃべり中にできること
「残りのメールは、消しちゃうよ。」	「取っておいたメールは 通だよ。」と、おしゃべりして保存メールを読み上げている途中でメール読みマウスの背中のスイッチをゆっくりと2回押したとき、または、メール読みマウスボタンをダブルクリックしたとき (●P29)	-
「残りのメールは、取っておくよ。」	「メールが 通来てるよ。」と、おしゃべりして新規メールを読み上げている途中で、メール読みマウスの背中のスイッチをゆっくりと2回押したとき、または、メール読みマウスボタンをダブルクリックしたとき (●P29)	-
「これで終わりだよ。」	すべてのメールを読み終わったとき	-



ワンポイント

新規メールとは

メールサーバーから取得した新しく届いたメールのことです。

保存メールとは

新規メールの読み上げ途中で、読み上げを中断した場合、まだ読み上げられていないメールを保存メールとして、メール読みマウスが保存します。



お知らせ

メール読みマウスの背中のスイッチは「カチッ」と音がするまでしっかりと押してください。デスクトップ上のメール読みマウスボタンをクリックしても、メール読みマウスの背中のスイッチを1回押した場合と同じ指示をしたことになります。

メールを取りに行く時間は通常2～3分です。メールの数が多いときや添付ファイルがあるときなどは、それ以上かかることがあります。

メール読みマウスのマイクプラグとスピーカプラグがパソコンから外れていると、メール読みマウスの背中のスイッチを押しても動作しません。

メール読みマウスで一度読み上げたメールは、再度読み上げることはできません。

メール読みマウスでは、添付ファイルの内容を読み上げることはできません。添付ファイルの内容は他のメールソフト等でご確認ください。

「メールの送り主、件名(タイトル)送信日時分秒が同じメール」は、同一メールとして扱われます。

メールの読み上げ中に、音質が変わることがあります。

メールを読み飛ばして、次のメールを読みたいときは


読んでいるメールを読み飛ばして、次のメールを読むことができます。新規メール、保存メールいずれのメールについても読み飛ばしをすることができます。

- 1 メールを読み上げている時に、メール読みマウスの背中中のスイッチを1回だけ押す。または、デスクトップ上のメール読みマウスボタンをクリックする。

読み上げを中断し、次のメールの読み上げを始めます。



または

 お知らせ

読み上げ中に読み飛ばしたメールは削除され、再度、メール読みマウスで読み上げることはできません。内容を確認する場合は、他のメールソフトをご使用ください。メール読みマウスの背中中のスイッチは、「カチッ」と音がするまでしっかりと押してください。デスクトップ上のメール読みマウスボタンをクリックしても、メール読みマウスの背中中のスイッチを1回押した場合と同じ指示をしたことになります。

メール読み上げを中断したいときは

メールの読み上げを中断することができます。新規メール、保存メールいずれのメールの読み上げ中でも中断することができます。

新規メールの読み上げを中断すると



「残りのメールは、取っておくよ。」

読んでいない新規メールは、保存メールとなります。次に読み上げを指示したときに保存メールとして読み上げられます。

保存メールの読み上げを中断すると

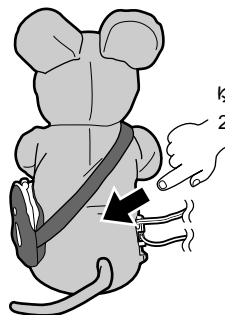


「残りのメールは、消しちゃうよ。」

まだ読み上げられていない保存メールが削除され、メール読みマウスでは、読み上げることができません。ご注意ください。

- 1 メール読み上げ中に、メール読みマウスの背中中のスイッチをゆっくりと2回押す。または、デスクトップ上のメール読みマウスボタンをダブルクリックする。

メール読み上げを中断します。




または



ダブルクリックする

お知らせ

メール読みマウスの背中中のスイッチを2回押す場合、スイッチを押す間隔が短すぎると2回と認識しない場合があります。「カチッ」と音がするまでしっかりとゆっくり2回押してください。メール読みマウスがメールを削除 ( 「残りのメールは、消しちゃうよ。」) してもメールサーバー上のメールが削除される訳ではありません。他のメールソフト等でメールを見ることができます。

デスクトップ上のメール読みマウスボタンをダブルクリックしても、メール読みマウスの背中中のスイッチを2回押した場合と同じ指示をしたこととなります。

メール読みマウスを終了するには

メール読みマウスを停止するとき、パソコンの電源を切るとき、メール読みマウスと併用できないソフトウェアを使うときなど、以下の方法でメール読みマウスを終了（起動停止）してください。

- 1 デスクトップ上の、[メール読みマウス]画面の[終了]をクリックする。

メール読みマウスのプログラムが終了します。



ワンポイント

メール取得中に[終了]または[×]ボタンをクリックした場合取得中のメール受信が終了するまで[砂時計]が表示されます。重い添付ファイル等の受信が終了するまで（数分間）表示されることがあります。



メール読みマウスを起動するには（☛P24）

メール読みマウスが起動されているかどうかを確認するには（☛P40）

お知らせ

[×]ボタンをクリックしても[終了]をクリックした場合と同様に、メール読みマウスのプログラムを終了することができます。

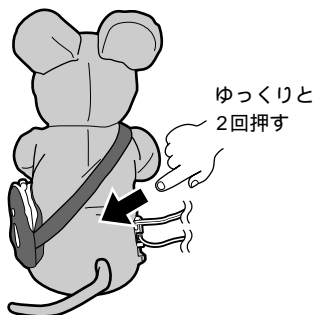
メール読みマウスをパソコンから外すときは、先にメール読みマウスソフトウェアを終了させてください。ソフトウェアが外部の音を検知して読み上げをはじめるなどの誤作動をする場合があります。

メールの取得を中断するには

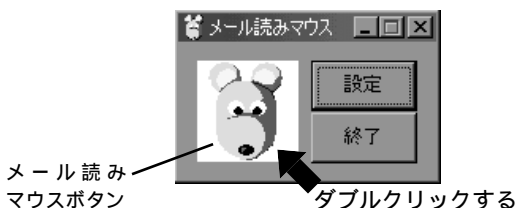
添付ファイルがあったり、メールの数が多いなど、メール取得に時間のかかる場合があります。そんなときはメールの取得を中断することができます。

- 1 メール取得中にメール読みマウスの背中のスイッチをゆっくりと2回押す。または、デスクトップ上のメール読みマウスボタンをダブルクリックする。

メールの取得を中断します。



または



ワンポイント

メール取得中断の操作をした場合

メールサーバーと接続されメール取得可能となったとき、または、取得中の1つのメール受信が完了したとき、メール取得を中断します。

この間に、メール読みマウスの背中のスイッチ、または、メール読みマウスボタンを操作しても、メールを取得することはできません。



お知らせ

メールの取得を中断した場合、中断する前に取得しているメールの読み上げは行いません。新規メールとして保存され、次に読み上げを指示したときに読み上げられます。

メール読みマウスの背中のスイッチを2回押す場合、スイッチを押す間隔が短すぎると2回と認識しない場合があります。「カチッ」と音がするまでしっかりとゆっくり2回押してください。デスクトップ上のメール読みマウスボタンをダブルクリックしても、メール読みマウスの背中のスイッチを2回押した場合と同じ指示をしたこととなります。

お使いのメールソフトでメールサーバーにメールを残す設定がしている場合、メールソフトで読み込んでも、メールサーバー上にはそのメールが残ります。その結果、メールサーバー上に多数のメールが残ることがあります。メール読みマウスでは、残されたメールすべてを取得するため、取得に時間がかかることがあります。

設定を変更するには

ご利用になるプロバイダを変更したときやプロバイダのメールサーバーに変更があったときなどは、メール読みマウスのソフトウェアの設定を変更する必要があります。また、メール自動取得間隔も変更することができます。

1 メール読みマウスウインドウの [設定]をクリックする。

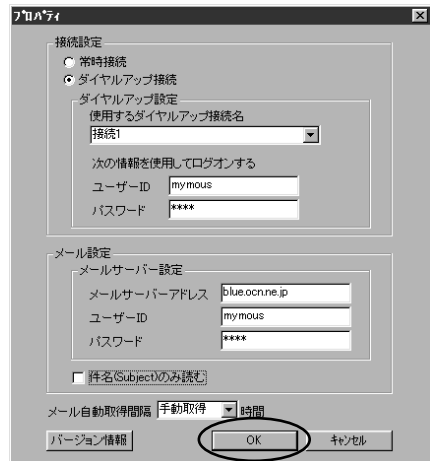
[プロパティ]画面が表示されます。



2 設定内容を変更する。

設定内容の詳細については、プロバイダおよびメールサーバーの資料をご参照いただき設定を変更します。「メール読みマウスのソフトウェア」の設定(●P18)を参照してください。

3 [プロパティ]画面の[OK]を クリックする。



ソフトウェアを削除するには

- 1 メール読みマウスが起動している場合は、[メール読みマウス]画面の[終了]をクリックする。

メール読みマウスのプログラムが終了します。



- 2 デスクトップ上の[マイコンピュータ]をダブルクリックする。



マイコンピュータ

- 3 [コントロールパネル]をダブルクリックする。

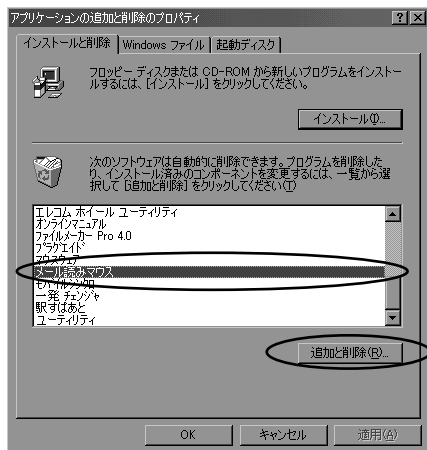
コントロール
パネル

- 4 [アプリケーションの追加と削除]をダブルクリックする。

アプリケーション
の追加と削除

- 5 [インストールと削除]タブの中から[メール読みマウス]をクリックし、[追加と削除]をクリックする。

[ようこそ]の画面が表示されます。

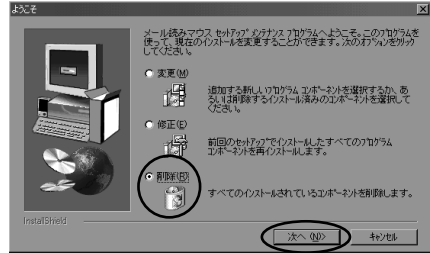


(次ページへつづく)

ソフトウェアを削除するには

6 「削除」を選択し、[次へ>]をクリックする。

[ファイル削除の確認]画面が表示されます。

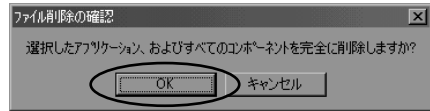


7 [ファイル削除の確認]画面の[OK]をクリックする。

メール読みマウスのソフトウェアが削除されます。

[共有ファイルを検出]画面が表示された場合は、[はい]をクリックしてください。

数回[読み取り専用ファイルを検出]画面が表示されますので、[はい]をクリックしてください。



8 [アプリケーションの追加と削除のプロパティ]画面の[OK]をクリックする。

メール読みマウスのソフトウェアの削除が終了します。



お知らせ

パソコンへの他ソフトウェアのインストール状況により、ここに挙げた以外の画面が表示され指示を促すことがあります。ソフトウェアの削除は、画面に表示された指示をよくお読みになり、それに従って操作してください。


故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、修理を依頼される前に次の点をご確認ください。

こんなとき	原因	確認してください	参照ページ
インストールできない。	Windows® 2000、Windows NT®を使用している。	Windows® 95、Windows® 98、Windows® Me以外では動作保証していません。	☛P15
	パソコンのディスクの空き容量が不足している。	パソコンのディスクの空き容量が80 MB以上あるかどうか確認してください。	☛P15
メール読みマウスの背中のスイッチを押しても、おしゃべりしない。	メール読みマウスがパソコンに接続されていない。	メール読みマウスがパソコンに接続されているかどうか確認してください。	☛P14
	パソコンの電源が入っていない。	パソコンの電源を入れ、その後メール読みマウスのソフトを起動してください。	-
	メール読みマウスのソフトが起動されていない。	メール読みマウスのソフトを起動してください。	☛P24
	メール読みマウスの背中のスイッチの押しかたが弱い。	メール読みマウスの背中のスイッチは、「カチッ」と音がするまでしっかり押してください。	-
メール読みマウスの背中のスイッチを押しても、おしゃべりしない。(メール読みマウスボタンをクリックしても、おしゃべりしない。)	メール読みマウスの電源アダプタが正しく接続されていない。	メール読みマウスの電源アダプタを正しく接続してください。	☛P14
	メール読みマウスのマイクプラグが、パソコンのマイク入力端子(☎)またはLINE IN(☎)以外に差し込まれている。	メール読みマウスのマイクプラグを、パソコンのマイク入力端子(☎)またはLINE IN(☎)に差し込んでください。	☛P14
	メール読みマウスのスピーカプラグが、パソコンのヘッドホン端子(🎧)、スピーカ出力端子あるいはLINE OUT(☎)以外に差し込まれている。	メール読みマウスのスピーカプラグを、パソコンのヘッドホン端子(🎧)、スピーカ出力端子あるいはLINE OUT(☎)に差し込んでください。	☛P14
	インターネットが使える状態になっていない。	インターネットに接続できるか確認してください。	-
メール読みマウスの背中のスイッチを2回押してもメール取得を中断しない。	スイッチを押す間隔が短すぎて2回と認識していない。	メール読みマウスの背中のスイッチは、「カチッ」と音がするまでゆっくりしっかり押してください。	-

故障かな？と思ったら

こんなとき	原因	確認してください	参照ページ
メールを自動取得しない。	手動取得指定されている。	メール自動取得時間を設定してください。	▶P20
	省電力機能付きのパソコンを使用している。	省電力機能付きのパソコンをご使用の場合は、省電力機能がOFFになっているか確認してください。	▶P18
おしゃべりの声が小さい。	音量の調節が正しくされていない。	音量を調節してください。	▶P22、23
	メール読みマウスのスピーカプラグが、LINE OUT (((→))) に差し込まれている。	故障ではありません。 LINE OUT (((→))) からでは、十分な声の大きさにならない場合があります。	▶P15
おしゃべりの声が途切れて聞こえる。	パソコンによっては、ダイヤルアップ中や通信中にスピーカ出力がとぎれるものがある。	故障ではありません。 パソコンのサウンド機能制御により発生する現象です。	-
🐶 「お帰りなさい。」が聞こえない。またはとぎれる。	携帯電話やPHS対応電話機でダイヤルアップ接続している。	故障ではありません。 携帯電話やPHS対応電話機でダイヤルアップ接続している場合、読み上げ機能が正常に動作しないことがあります。	-
	日本語以外の言語でメールが書かれている。	故障ではありません。 メール読みマウスは、日本語（一部英文を含む）以外は、読み上げることはできません。	-
メール内容が正しく読まれない。	メールが、携帯電話やPHS対応電話機から送られている。	相手先のメールソフトの種類・形式によりメール読みマウスで正しく読めないものがあります。	-
	メールの内容以外の音が聞こえる。	故障ではありません。 メール読みマウスと音声を出すソフトウェアは同時に使用しないでください。 また、音楽CDも同時に使用しないでください。	-
添付ファイルがないのに、🐶 「添付ファイルがあるよ。」とおしゃべりする。	HTML形式でメールが書かれている。	故障ではありません。 メール読みマウスは、HTML形式を読み上げることはできません。 「添付ファイル」としてお知らせします。	-

こんなとき	原因	確認してください	参照ページ
 「メールを取ってくるよ。ちょっと待ってね。」を繰り返す(メールの取得に時間がかかる)。	読み出すメールの数が多く、添付ファイル付きのメールを取得しようとしている。	故障ではありません。 メールの数が多く場合や、添付ファイル付きのメールを取得するときなど、10分以上かかる場合があります。	●P39
	メールソフトで「プロバイダのメールサーバーにメールを残す」ような設定をしている。このため、メールサーバーに多数のメールが残っている。	故障ではありません。 お使いのメールソフトでメールサーバーにメールを残す設定がしてある場合、メールソフトで読み込んでも、メールサーバー上にはそのメールが残ります。その結果、メールサーバー上に多数のメールが残ることがあります。メール読みマウスでは、残されたメールすべてを取得するため、取得に時間がかかることがあります。	●P39
	TA等周辺機器の電源がOFFになっているなど、インターネットが動作できない状態になっている。	TA等周辺機器の電源を入れるなど、インターネットが動作できる状態にしてください。 時間をおいて再度操作してください。	-
メール取得中に[プロパティ]画面が表示された。	プロバイダが混んでいて、電話が切れてしまったなどが原因で、メール取得に失敗した。	故障ではありません。 [プロパティ]画面の[OK]をクリックし画面を閉じてください。 時間をおいて再度操作してください。	-
	電話回線使用中のためダイヤルアップ接続できなかった。		
	プロパティ設定に未設定項目がある、または誤りがある。	設定内容を確認してください。	●P19、 20

Q. メール読みマウスがまったく動かないのですが？

A. 次の1)～5)を確認してください。

1) 動作環境の条件を満たしていますか？
(●P15)

メールを送受信できる環境がないと、メール読みマウスは使用できません。

2) メール読みマウス本体が正常かどうか確認します。

パソコンからマイクプラグとスピーカプラグを抜きます。

なお、電源アダプタは電源コンセントに差し込んだままにしてください。マイクプラグとスピーカプラグの先端どうしを接触させ、メール読みマウスの背中のスイッチを押します。

「ピー」という音が出ればメール読みマウス本体は正常です。

3) 音量設定・調節を確認します

調節中大きな音が出る場合があります、音量の調節は少しづつ行ってください。

音量調節用のダイヤルがあるパソコンをお使いの場合。

ダイヤルが最小となっていないことを確認してください。最小の場合は、音は出ません。

なお、最大にしても音量が小さい場合、音量の調節(●P22)の音量を確認してください。音量設定が最小あるいは、全ミュートになっていると、音量調節用ダイヤルを最大としていても、音が小さい・聞こえないことがあります。

音量の調節(ボリュームコントロール)の設定・調節。(●P22)

マイクプラグを接続している端子に相当する項目の指定を確認します。

録音の調節(レコーディングコントロール)の設定。(●P23)

マイクプラグを接続している端子に相当する項目の設定を確認します。

4) マイクプラグ、スピーカプラグ、電源アダプタが根元まで差し込まれているか確認する。

5) 接続・設定の状態を確認する。

[音量の調節]ダイアログで、マイクプラグを接続している端子に相当する項目の「ミュート」のチェックをはずす。

メール読みマウスの背中のスイッチを押す。

「ピー」という音が出れば接続・設定は正常です。

すべて問題ない場合は、一度メール読みマウスを終了(●P30)し、再度起動(●P24)してください。

Q. [音量の調節]ダイアログにマイクやライン入力が表示されないのですが？

A. 「読み上げ音量の設定と調節」(●P22)の手順3、4と同じような下記の操作で、表示されていない項目を表示することができます。

[音量の調節]ダイアログの[オプション][プロパティ]を選択する。

「音量の調整」の「再生」を選び、マイクプラグを接続した端子(マイクまたはライン入力)の項目をチェックし[OK]をクリックする。

Q. メールの取得にすごく時間がかかるのですが？

A. メール取得に時間がかかるのは、次のような原因があります。

1) メールの数が多い。

メール読みマウスインストール直後のため、メールサーバー上にメールが多い。

メール読みマウスを長期間使用していなかったため、メールサーバー上にメールが多い。

お使いのメールソフトで、「プロバイダーのメールサーバーにメールを残す」設定にしている。

この場合、他のメールソフトで1度読んだあとも、メールサーバーにそのメールが残されるため、取得するメールの数が多くなります。

2) 重い添付ファイルがある。

3) TA等の周辺機器の電源がOFFになっているなど、インターネットが動作できない状態にある。

<対処・対応>

確認・対応するため、メール取得を中断します。(●P31)

TA等周辺機器の電源の状態など、インターネットに接続可能な状態かどうか確認します。

メール読みマウス以外のお使いのメールソフトで次の処理を行なってください。

読み上げ不要なメールをメールサーバーから取得するなどして、メールサーバー上から削除する

重い添付ファイルを持つメールをメールサーバーから取得するなどして、メールサーバー上から削除する


なお、「プロバイダーのメールサーバーにメールを残す」に設定されている場合は、メールを残さないように設定変更することをお勧めします。

Q. メールの取得を途中でやめたいのですが？ どうしたらいいの？

A. 次のいずれの操作でもメールの取得を中断することが出来ます。(●P31)

メール読みマウスの背中中のスイッチをゆっくりと2回押す。

デスクトップ上のメール読みマウスボタンをダブルクリックする。

[メール読みマウス]画面の[終了]をクリックする。または、[メール読みマウス]画面のタイトルバーにある  (閉じる) をクリックする。ただし、この操作を行うと、メール読みマウスが終了します。再度お使いの場合は、メール読みマウスの起動が必要になります。

Q. [メール読みマウス]アイコン(ショートカット)がないのですが？ どうしたらメール読みマウスを起動できますか？

A. ソフトウェアをインストールしましたか？ まだの場合、「メール読みマウス 2000用ソフトウェア」をインストールしてください。(●P16)

インストール済みの場合、タスクバーの[スタート]ボタンをクリックし、[スタート]メニューを表示し、[プログラム] [メール読みマウス] [メール読みマウス] を選ぶと起動することができます。メール読みマウスソフトウェアをインストールしたフォルダの中にある Mouse Timer.exe をダブルクリックしても起動することができます。

(次ページへつづく)

Q . メール読みマウスが起動しているかどうか確認するには？

A . パソコンのタスクバーの部分に、「メール読みマウス」が表示されている場合は、メール読みマウスが起動しています。




Q . [メール読みマウス]画面が表示されていないのですが、どこにあるのでしょうか？


A . パソコンのタスクバーの部分に、「メール読みマウス」と表示されていますか？

表示されている場合、[メール読みマウス]画面は最小化されているだけです。タスクバーに表示されている「メール読みマウス」の部分をクリックしてください。元のサイズで[メール読みマウス]画面が表示されます。

表示されていない場合、まだメール読みマウスが起動されていません。[メール読みマウス]アイコンをダブルクリックし、メール読みマウスを起動してください。(●P24)[メール読みマウス]画面が表示されるとともに、タスクバーの部分に、「メール読みマウス」と表示されます。

Q . 新しいメールが来ているはずなのに、「メール来てないよ...。」とおしゃべりするのですが？


A . 次のような原因が考えられます。

[プロパティ]画面が表示されて、「メール来てないよ...。」とおしゃべりする場合。

プロパティの設定内容に間違いまたは、指定もれの項目がある場合があります。指定内容を再度確認してください。(●P19, 20)

電話回線が他で使用されていて、ダイヤルアップ接続できない場合、このような状態になります。

プロバイダが混んでいて接続できない場合このような状態になります。

「メール来てないよ...。」とおしゃべりする場合。

メールが来ても、メール読みマウス以外のメールソフトに自動取得が設定されている。または、すでにメールをチェックした場合、メール読みマウスではメールを取得することはできません。

Q . いつ動かしてもメールを取ってこないのですが？

A . メール取得がうまくいっていない可能性があります。次の方法で取得状態を確認してください。

メールが送受信できる環境にあるかどうか、他のメールソフトを用いて送受信テストする。

テスト用にメール読みマウスの[プロパティ]画面で「手動取得」を選択する。

(●P20)

自分宛てにメールを送る。

メールの読み上げを指示(●P25)し、TA等が正常に動作することを確認する。

アルファベット

LINE IN	15
LINE OUT	15
Q&A	38
Subject	20

五十音

[プロパティ] 画面	19
[メール読みマウス] 画面	18

[ア行]

アカウント	20
インストール	16
おしゃべりの内容一覧	26
おしゃべりの流れ	25
音量の調節	22

[カ行]

件名のみ読む	20
故障かな?と思ったら	35

[サ行]

手動取得	20
仕様	42
常時接続	19
新規メールとは	27
スピーカ出力端子	14、15
スピーカプラグ	14、15

[タ行]

ダイヤルアップ接続	19
電源アダプタ	14
添付ファイル	10、27
動作環境	15

[ハ行]

バージョン情報を表示するには	19
パスワード	20
ヘッドホン端子	14、15
保守サービス	43
保存メールとは	27
ボリュームコントロール	22

[マ行]

マイク入力端子	14、15
マイクプラグ	14、15
メールサーバーアドレス	20
メール自動取得	20
メール自動取得間隔	20
メール取得中断	31
メール読み上げ中断	29
メール読み飛ばし	28
[メール読みマウス] アイコン	17
メール読みマウスを起動するには	24
メール読みマウスを終了するには	30
メール読みマウスボタン	25
メールを読ませるには	24

[ヤ行]

ユーザーID	19、20
--------	-------

[ラ行]

録音の調節	23
-------	----

仕 様

音声出力	メール読みマウス：1 chモノラル 2 WPEP 外部出力：2 chステレオ 2 WPEP
スピーカ	2 WPEP 4.5 cmスピーカ
使用電源	AC100 V (50 / 60 Hz)
消費電力	約3 W
外形寸法	メール読みマウス本体：約80 mm(高さ)×約70 mm(奥行)×約60 mm(幅) ぬいぐるみ：約220 mm(高さ)×約120 mm(奥行)×約140 mm(幅)
質量	約400 g(電源アダプタ含む)

本商品に使用可能な電源アダプタは、▽ 91-54932 (定格入力：AC100 V 9 VA 50/60 Hz 出力：DC11 V 350 mA) です。

保守サービスのご案内

保証について

保証期間（1年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたしますので、「保証書」は大切に保管してください。
（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。
当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へおうかがいするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。） 当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へおうかがいするための費用が不要になります。

故障の場合は

故障した場合のお問い合わせは局番なしの113番へご連絡ください。

お話し中調べは

お話し中調べは局番なしの114番へご連絡ください。

補修用部品の保有期間について

この商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、7年間保有しています。
ただし、縫製品については、この部品に含まれません。

使用権許諾契約書

本契約は、当社との間の契約です。本契約によって許諾されるところに従いお客様が、当社が著作権を有するソフトウェア製品を使用することにより、お客様は本契約に同意したこととなります。本契約に同意できない場合には、本契約書およびソフトウェア製品を購入店にご返却下さい。

第一条

本契約の対象となるソフトウェア製品とは、当社が提供する「メール読みマウス 2000」及び「メール読みマウス 2000取扱説明書」を意味します。

第二条

当社は、本契約に基づきお客様に対してソフトウェア製品の譲渡不能かつ非独占の日本国内における第三条に内容を定める権利を許諾します。

第三条

- (1) お客様は、ソフトウェア製品を使用する際、お客様が購入した「メール読みマウス 2000」及び「メール読みマウス 2000取扱説明書」において、これに使用可能な状態で日本国内において、非独占的に使用することができます。
- (2) お客様は、ソフトウェア製品のバックアップとして保有する場合に限り、複製することができます。
また、ソフトウェア製品についていかなる改変も禁止とし、それに起因する障害について当社は一切の責任を負いません。
- (3) お客様は、上記(1)及び(2)に定める以外の権利を一切有しないものとし、上記(1)及び(2)に定めること以外のためにソフトウェア製品を使用できません。

第四条

お客様が本契約のいずれかの条項に違反した場合、当社は本契約を解除し、お客様のご使用を終了させることができます。その場合、お客様は速やかにソフトウェア製品及びその複製物をお客様の負担にて返却するものとします。【(ご注意)当社はその他法的処置をとることもあります。】

第五条

当社は、お客様がソフトウェア製品を購入された日から1年以内に限り、ソフトウェアが納められている媒体や印刷物に物理的な欠陥があった場合は無償にて交換いたします。また、当社は物理的な紛失・盗難・事故による損害は保証致しません。

第六条

当社は、お客様に対し、当社がお客様に引き渡すソフトウェア製品については、特定物として現存するままの状態を提供し、法律上の瑕疵担保責任を含む全ての明示または暗示の保証を致しません。

第七条

本契約に係わる紛争は、当社の本社所在地を管轄する地方裁判所をお客様合意の管轄裁判所とします。

この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報を提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ： <http://www.ntt-east.co.jp/ced/>

<http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

使い方等でご不明の点がございましたら、NTTサザンクロスお取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTTサザンクロスお取扱相談センタ： ☎ 0120 - 737470

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。



©2000 NTTEAST・NTTWEST

本2155-1(2000.11)